

2018 年度
マンスリーレポート No. 38

5月7日、教務委員会でM5中間試験の実施要項が提出された。日時は7月30日、9:00～12:20。60分×3ブロック。会場は基礎3号館コンピューター実習室(初めてのCBT試験)。出題は国試過去5年分(第108～112回)から210問、当センターが担当する。前年と異なり、領域や分野を問わず、500問×5年=2,500問から抽出することになる。

5月9日、教授会議で6年生のPost-CC OSCEの実施要項が承認された。7月28日(土)、模擬患者18名が参加。オープンキャンパス実施プログラムが報告された。7月22日(土)、当センターが担当するのはクリニカルスキル体験(谷脇/片山)、横倉義武医師会長講演会の学生とのディスカッション(司会:安達)である。

5月11日、電子シラバス(Moodle)のサーバー移転に関連し、柏木が一時停止(5月22日)とURL変更(<https://moodle.kurume-u.ac.jp>)を教職員に文書で通知した。

5月12日、安達が医学部SP会養成セミナーの症候ミニレクチャーで「腹痛」を講義した。

5月14日、クリニカルスキル・トレーニングセンター(トレセン)の本格稼働とセンター会議の開催に向けて、谷脇・安達・片山・江上が集まり、運用課題や進捗状況を確認した。6月に研修会やセミナーの予約があり、機材搬入や内装改修工事を急ぐことにした。

5月14日、山田がJACME受審間近の福岡大学の外部評価・問題検討委員会に参加した。

5月16日、当センターが担当した「神代龍吉教授退職記念誌」が完成し、発送した。

5月17日、外科医が医学生を率いて内視鏡手術の模擬演習を行った(トレセン初利用)。

5月18日、トレセンに看護部の備品を搬入した(5月24～31日は心肺蘇生演習の予定)。

5月21日、新科目「メディカルアーツ4」の筆記試験(40点は記述問題)を実施した。

5月22日、教育用サーバーが教育センターから大学病院情報システム室に移動した。

5月24日、安達が准講会定例会で「基礎力強化プログラム」を説明して協力を求めた。

5月25日、教育ワークショップ(2012～2017年)の成果を検証して教務委員長に提出した。

5月28日～6月1日、安達が医学教育分野別評価の評価員として実地調査に参加した。

5月30日、栗崎道賢くん(4年生)が応募した演題「3年生における研究室配属の意義」が第50回日本医学教育学会大会の学生セッション(ポスター)に採択された。

文責:安達洋祐